

広域実践看護学特別研究 I (3単位

博士論文

広域実践看護学特別研究Ⅱ(3単位)

広域実践看護学演習(2単位)

<ヘルスケアシステム・看護管理> <看護教育> ◀ いずれか 1 つを選択

<クリニカルケア> <メンタルヘルスケア>

◀ いずれか 1 つを選択

広域実践看護学特論Ⅱ

(クリニカルケア研究法) 選択科目(2単位)

広域実践看護学特論Ⅲ

(メンタルヘルスケア研究法) 選択科目(2単位)

1 科目以上を選択

広域実践看護学特論Ⅳ

(看護教育研究法)

選択科目(2単位)

選 択

異文化

精神医

療論(2単

位

言語学研究論(1単位

地域保健医療研究論(2単

位

広域実践看護学特論 I

(ヘルスケアシステム・看護管理研究法) 必修科目(2単位)

専門科目 必修 10単位以上 選択 2単位以上

専門関連科目 2 単位以上

教員組織(専任教員) 特長1

広域実践看護学特別研究の主研究指導教員とその研究テーマ

システム系

春山 早苗 教授

ヘルスケアシステムや健康危機管理体制など地 域を基盤としたヘルスケアシステムの構築・機 能化に関わる看護実践、特に行政分野に所属す る看護職の看護実践やへき地と都市部など地域 特性に応じた看護実践を探究する。

成田 伸 教授

ヘルスケアシステムを見据えながら、リプロダ クティブヘルス / ライツの概念を反映させ、さ らにジェンダーの視点を取り入れ、母性看護学・ 助産学の特性と役割に関する看護実践の開発を 探究する。

村上 礼子 教授

慢性疾患の急性増悪も含めた重篤な状態や急性 期などの看護実践から、在宅、回復期にある患者・ 家族への看護実践で必要な看護師の特定行為を 含む診療看護技術提供システムの開発ならびに、 診療看護技術教育の開発を探究する。

浜端 賢次 教授

次世代のヘルスケアシステムをめざし、医介連 携や多職種連携による地域医療やケアの充実を 視野に入れ、健康障害をもつ高齢者とその家族 を中心に、医療機関や高齢者施設等における老 年看護管理学の看護実践を探究する。

ケア系

小原 泉 教授

がん診断期から終末期ケアに至るまで特にがん 患者の抗がん剤治療における臨床試験に関する 意思決定モデルを中心に、がん患者とその家族 に対する看護実践の開発を探究する。

永井 優子 教授

精神的な問題をもつ人および精神障害者とその 家族のセルフケアを促進し、地域生活を継続す るとともに、より質の高い生活となるような看 護実践を探究する。

半澤 節子 教授

国内外の科学的知見を踏まえながら我が国の精 神保健に関連するテーマを探究し、精神障害の 予防、治療、リハビリテーションに役立つ基礎 的研究を行う。スティグマ、精神障がい者家族 介護、社会復帰など社会文化的環境要因につい て探究する。

受験希望者は、希望する研究指導教員の事前面接を受ける必要があります。

専任教員

副研究指導教員

大塚 公一郎 教授 塚本 友栄 教授

川野 亜津子 教授

研究指導補助教員

長谷川 直人 教授 角川 志穂 准教授 関山 友子 講師

専門関連科目

鹿野 浩子 講師